

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## **IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

-1-

ACCESSION NUMBER  
TITLE  
PATENT APPLICANT  
INVENTORS  
PATENT NUMBER  
APPLICATION DETAILS  
SOURCE

INT'L PATENT CLASS  
JAPIO CLASS  
FIXED KEYWORD CLASS  
ABSTRACT

84-138461  
LIQUID JET RECORDING APPARATUS  
(2000100) CANON INC  
HARA, TOSHITAMI; YANO, YASUHIRO; HARUTA, MASAHIRO  
84.08.08 J59138461, JP 59-138461  
83.01.28 83JP-012444, 58-12444  
84.12.07 SECT. M, SECTION NO. 343; VOL. 8, NO. 267,  
PG. 34.  
B41J-003/04  
29.4 (PRECISION INSTRUMENTS--Business Machines)  
R105 (INFORMATION PROCESSING--Ink Jet Printers)  
PURPOSE: To record an image increased in the  
faithfulness of the response to a recording signal  
and high in resolving power and quality at a high  
speed in a liquid jet recording apparatus, by  
providing an opening separate from an emitting port  
on a liquid flowline.  
CONSTITUTION: An opening 119 separate from an orifice  
108 is provided in order to prevent the  
non-stabilization in the emission of a liquid from  
the orifice caused by such a state that air bubbles  
are stayed in the deep part (in the vicinity of a  
front wall plate 103) of a liquid flowline 118 during  
ink filling and achieves an auxiliary function for  
venting a part of air present in the liquid flowline  
during ink filling and not venting only from the  
orifice 108. The liquid flowline between the orifice  
108 and the opening 119 efficiently performs the  
emission of the liquid from the orifice 108 and, in  
order to prevent the emission of the liquid from the  
opening 119 when heat energy is imparted to the  
liquid from the heat acting surface 115, the shape of  
a partition wall 117 may be determined so as to make  
the liquid flowline narrow. One or more of the  
opening 119 is usually provided to the deepest part  
of the liquid flowline, that is, in close vicinity of  
the front wall plate 103 and the diameter thereof is  
pref. made smaller than that of the orifice 108.

## 12 公開特許公報 (A)

8459-138461

SubInt. Cl.:  
B 41 J 3/04

識別記号  
103

室内整理番号  
7810 2C

4.3 公開 昭和59年(1984)8月8日

發明力數	1
審查請求	未請求

( 4 6 5 )

#### 54. 液体噴射記錄裝置

21特 昭58-12444

22出 8458(1983)1月28日

発 明 者 原 利 民  
東京都大田区下丸子3丁目30番  
2号キヤノン株式会社内

発 明 者 矢野泰弘  
東京都大田区下丸子3丁目30番

2 株式会社キヤノン

記 念 著 作 田 昌 宏  
東京都大田区下丸子 3-11-30 番

出 願 人 2 号キャノン株式会社  
キャノン株式会社  
東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番  
2 号

74代 理 人 弁 理 士 若 林 忠

41 42 43

1. 2. 3. 4.

陳 永 昌 主 持

• 11 12 13 14 15 16

1) 鋼よりなるもの、利用によつて給電を停止し、電  
 磁的給電を形成するために設けられた電磁の所  
 出入口、これ等の出入口に適合し、前記電磁的  
 給電を形成するための電磁が供給される導管と、  
 該導管に前記電磁を供給するための供給口と、  
 前記出入口のそれぞれに対応して設けられ  
 た、前記鋼よりなる一を発生する手段としての  
 電磁の電磁給電機構とを具備し、該電磁給電機  
 体のそれぞれは、発生される鋼よりなる一が前  
 記給電体から出るとして、鋼の川流を前記給  
 電体の両端に有し、前記出入口のそれぞれは、該  
 両端に用いられ、あって設けられ、前記導管内  
 に、それぞれ給電する給電用鋼管及び出入口配  
 管を備える無電磁が設けられ、それぞれの出口  
 口毎に前記給電体の給電管を有する給電噴射配  
 置に於いて、前記給電管上に出入口とは別の

第 2 の調子が得られることは、次のように示すことができる。

この間の地産物が豊富であったことは、その後の  
地産物の消費の増加を促した。

[illegible]

以上述べた通り、この論文は、「神代卷」の成立を論ずるものである。

流体噴射式施肥装置には、様々方式があるが、その中でも、例えば徳田公開特許公報（OLS20044005）に開示された流体噴射式施肥装置は、施肥用の流体が有孔を有する流体噴射ノズルを介して、その出口部分に設置された施肥用ノズルに、施肥用の流体を吐出して、噴霧状の噴霧を形成するための吐出口を有するノズルを施肥場に配列することができるように、施肥能力を得ることができるように、同時に、施肥ノズルで全体的にはコ・ノズル・比が計れるように、また、必要に応じて、流体噴射野において、噴霧の吐出

[illegible]

1. 在已知条件下，求函数的最值。求法：(1) 求导法；(2) 配方法；(3) 判别式法；(4) 三角代换法；(5) 不等式法；(6) 数形结合法；(7) 换元法；(8) 待定系数法；(9) 构造函数法；(10) 利用函数的性质。

[illegible][illegible]

1917年12月17日

第一國法與第二國法，在處理上應各依其權利範圍，以國法的概念為主。第二國法，第一國法傳統的權利範圍，第二國法第一國法，前經 A、B 兩家論，在國法的傳統範圍內，第二國法應與國法說明，在國法的傳統範圍內，第二國法應與國法說明，在國法的傳統範圍內，第二國法應與國法說明。

第1図の右半第3図に示すように、同位素組成が異なる  
100は「基礎191」と「基礎192」を設計計算で考  
え測定の誤差を考慮し約102と求められている。第  
1日、第2日及び第3日目の測定結果が示され

三、社會主義的經濟學。社會主義的經濟學，是研究社會主義經濟制度的科學。它的主要任務，是研究社會主義經濟制度的產生、發展和消滅的規律。

[illegible]

● 本報記者 謝曉明 採訪 謝曉明 採訪 謝曉明 採訪

もしその媒体が銅製磁気媒体（銅テープ）の  
利用ならば、その媒体を引出し解理の磁面を形成する  
ために設計された磁石の引出口と、それ等の引出  
口を通過し、前記解理の磁面を形成するための磁  
体と接触される磁室と、該磁室に前記媒体を供給  
するための供給口と、前記引出口をそれぞれ閉  
鎖して設計された、前記銅テープを、発生する  
電流によって磁石の電磁誘導媒体とを接触し、該  
電流誘導媒体をそれぞれは、発生される銅テープ  
から、前記媒体に作用する面としての導引用光を  
放射するの表面に、前記引出口をそれぞれは、  
該表面に射し出さなければ設計され、前記

[illegible]

1. 在 10 个题中任选 5 个, 每个题都是 10 分, 共 50 分。  
解: 设 10 个题分别为 A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, 则共有 1024 种可能, 其中 10 个题都选中的有 1 种, 9 个题选中的有 10 种, 8 个题选中的有 45 种, 7 个题选中的有 120 种, 6 个题选中的有 210 种, 5 个题选中的有 252 种, 4 个题选中的有 210 种, 3 个题选中的有 120 种, 2 个题选中的有 45 种, 1 个题选中的有 10 种, 一个题都不选中的有 1 种, 所以共有 1024 种可能。

[illegible]

史學與地學 111 地理與地學 112 地理與地學 113

を適正に確保されることにより、これ等の事業の間の発生総額110億円に発生総額100億円を発生する。耕作田面積は、発生した時から前年に耕作したところであり、発生総額110と密接な関係がある。この耕作田面積115での耕作田により産休中、この年が発生し、その日付エントリーに基づき産休中、ブルが発生し、その日付エントリーに基づき産休中、ブルが100から繁殖的雌雄となつておられ、配属が実施される。

市営金線路102のものを副都心線に就いて  
30秒おきで所定の駅あり、31秒おきに降車を出  
るには、選別される選別電線102と共通電線  
104とを適して給電電圧を供給することによって  
も進められる。

以上説明した従前の液体噴射記録装置の構成に、本発明の液体噴射記録装置に於いては、その液体噴路内に、 $0.5\text{mm}$ 、 $1.0\text{mm}$ と異なる径の穴が設けられる。

この第2の関心は、前述した「3」の点の  
 ために、第11条の第1項(前章第103の点)に於て

[illegible][illegible][illegible]

第2の関心は、一般的に産産婦の健康に  
なれり前年度193に近接して、11例は、10例  
れ、その行はサリフス108より、少ないこと  
と云ふが好ましい。

第1及び第56回は、本発明の構成が図面に示される各細部中11、及び第2の細部12に於て、前記の技術的効果を生じた構造となつた。

本発明を実施例によってより具体的に説明する。

1 2 3 4

と加を無酸化してSiO<sub>2</sub>層を300Åに形成したSi基板をエッチングにより凡そ0.5μm間隔として100μm取り除いた。次に受熱抵抗層としてTe層を2000Åの厚さとしてAl層を100Å積層した後、この

プロセスにより形状 60nm × 100nm の熱発生用（ヒーター）アレーを 125 nm ピッチで形成した。また 70 層の酸化防止及びイオン線の透過防止、媒体が熱エネルギーを受けた際に発生されるバブルによる機械的衝撃用の膜として、SiO<sub>2</sub> 層 0.9 μm 厚、SiO<sub>2</sub> 層 1 μm 厚を順次スピンコートにより積層して保護層を形成した。

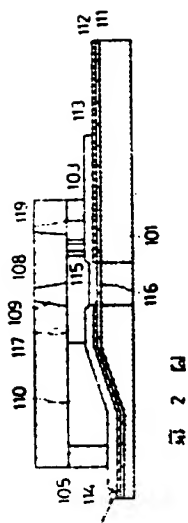
図にこの駅敷に第1、4、4で示されるよう  
 な一線が10kmの距離で、南駅、後駅、二つ  
 の南駅、マリヤス駅及び供給路を設置し、他  
 市町村に設置を希望した。距離で仕切られる地  
 区は幅は広い部分で80km、狭い部分で20kmで  
 マリヤス駅（ここでは距離で仕切られてい

と被覆部は含まない)と無り用空間に占めるは300mm、無り用面と被覆部が20mmになる部分までの距離は50mm、被覆部が20mmの部分の長さは10mm、第2の開口が設けられる第4段目の被覆部は20mm、長さ100mmであった。また、この被覆部は、鋼板のミクロン板からなり、ミクロン板は、ミクロン板の厚さが、それぞれ無り用面と被覆部の長さから50mm共通部室壁に位置し、20mmの長さの開口がそれぞれの被覆部の奥から25mmの位置に位置するように形成されている。

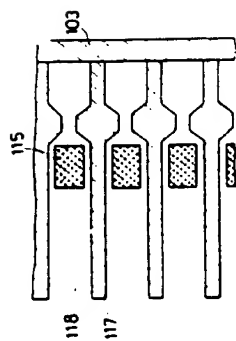
この飛出し制御装置に對して 5 m/sec の速度電圧を与えて駆動させた。この場合の飛出し速度は周波数比が 1 m/sec は 7 kHz であり、各々 1 m/sec 間の飛出し速度のバラツキはなかった。また、飛出し速度は各々 1 m/sec であり、12 m/sec とは違つてであり、第 2 の開口からは、飛出し速度が 1 m/sec になつた。

能力、第2の開口がなく、塩は全く同様に、  
製された液体噴射器装置に於いて同様に作用  
を知らしめたところ、各々異なる、異なる特殊の

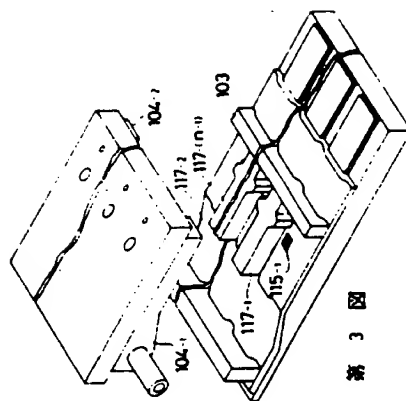


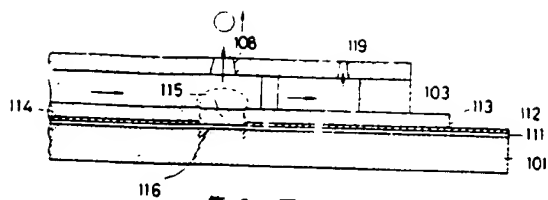


第 2 图

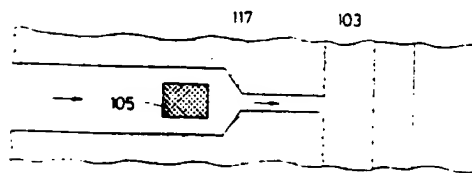


第 4 图





第 5a 図



第 5b 図